

地方独立行政法人徳島県鳴門病院の平成29年度に係る業務の実績 に関する評価結果についての報告(概要)

「地方独立行政法人徳島県鳴門病院」の業務の実績について、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、毎事業年度終了後、地方独立行政法人徳島県鳴門病院評価委員会から意見を聴取し、徳島県知事が評価を実施。

1 全体評価

第2期中期目標の達成に向けて概ね順調に進んでいる。

2 項目別評価

A評価4、B評価19、C評価2 計25項目

〈中期計画(年度計画) 項目別一覧〉

大項目	H29		大項目	H29	
中項目	自己	県の	中項目	自己	県の
小項目	評価	評価	小項目	評価	評価
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	—	—	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組	—	—
1 診療事業	—	—	1 業務運営体制	—	—
(1) 良質かつ適切な医療の提供	B	B	(1) 効果的な業務運営の推進	B	B
(2) 患者の視点に立った医療の提供	B	B	(2) 事務職員の専門性の向上	B	B
(3) 救急医療の強化	B	B	(3) 人事評価システムの構築	B	B
(4) がん医療の充実	B	B	2 業務運営方法	—	—
(5) 生活習慣病に対する医療の促進	B	B	(1) 県立病院との連携	A	A
(6) 産科医療や小児医療の充実	B	B	(2) 収入の確保	B	B
(7) 特徴を発揮した医療の推進	A	A	(3) 費用の抑制	B	C
2 地域医療・介護支援	—	—	第3 予算、収支計画及び資金計画	C	C
(1) 医療・介護連携の充実	B	B	第4 短期借入金の限度額	B	B
(2) 地域住民の健康維持への貢献	A	A	第5 重要な財産を譲渡し、又は担保しようとするときの計画	—	—
3 災害時における医療救護	—	—	第6 譲渡金の使途	—	—
(1) 医療救護活動の拠点機能	B	B	第7 料金に関する事項	—	—
(2) 他地域における医療救護への協力	B	B	第8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	—	—
4 人材の確保・養成	—	—	1 施設及び設備に関する事項	B	B
(1) 質の高い医師の確保・養成	B	B	2 職員の就労環境の向上	—	—
(2) 医療従事者の確保・養成	B	B	(1) 良好な職場環境づくり	B	B
(3) 看護専門学校の実質強化	A	A	(2) 就労環境の整備	B	B
			3 積立金の処分に関する計画	—	—

(参考) 評定区分

〈法人の自己評価〉

S	年度計画を大幅に上回って実施している(特に優れた実績)
A	年度計画を上回って実施している
B	概ね年度計画どおり実施している(達成度が概ね8割以上)
C	年度計画を十分に実施していない(達成度が概ね6割以上9割未満)
D	年度計画を大幅に下回っている(達成度が6割未満)

〈県の評価〉

S	第2期中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある
A	第2期中期目標の達成に向けて順調に進んでいる
B	第2期中期目標の達成に向けて概ね順調に進んでいる
C	第2期中期目標の達成のためにはやや遅れている
D	第2期中期目標の達成のためには重大な改善事項がある

3 項目別評価の概要（主な取組と評価 ※括弧内は評価結果）

①住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

<生活習慣病に対する医療の促進>

○医師、看護師、管理栄養士等の連携による糖尿病透析予防外来やフットケア外来の患者受入が増加するなど生活習慣病に対する積極的な取組が進められている。(B)

<特徴を発揮した医療の推進>

○「手の外科センター」において、手術件数が増加し、県内全域から手指の接合を要する患者を受入れ、高度な治療を実施していることは、鳴門病院の専門性を発揮する治療として、高く評価できる。(A)

<地域住民の健康維持への貢献>

○地域イベントへの健康相談所の出店、鳴門市等と連携した講座開催などを通じ、地域住民の健康維持活動に取り組んだことは、高く評価できる。(A)

<看護専門学校の充実強化>

○看護師国家試験合格率が5年連続100%だったこと、また、県内の就職率が90%近くあったことは、高く評価できる。(A)

②業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

<収入の確保>

○入院・外来収益共に、法人化以降最高となったが、引き続き新規患者数や診療単価の増、稼働病床利用率の向上など、収入確保に向けた取組を要する。(B)

<費用の抑制>

○医薬品の価格交渉でのコンサルタント活用などにより、一定の費用抑制効果があったことは評価できるが、平成28年度と比較して収益の増加を上回る費用の増加があり、更なる抑制に向けた取組を要する。(C)

<予算、収支計画及び資金計画>

○法人化後、最大の赤字額を計上するとともに、経常収支比率、医業収支比率ともに目標を若干下回るなど、安定した経営基盤の強化に向けた更なる取組を要する。(C)

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度
収入	6,684,691,259	6,847,813,626
支出	6,721,397,866	6,912,898,311
純損益	▲36,706,607	▲65,084,685

③その他業務運営に関する取組

<就労環境の整備>

○院内保育所の早朝保育の実施や保育時間の延長など、働きやすい職場環境づくりへの取組は評価できる。(B)

第2期中期計画数値目標に対する実績

	平成28年度実績	平成29年度実績	目標値(平成32年度)
①年間救急患者受入件数	6,915件	6,470件	6,800件
②年間がん入院患者延数	12,174人	12,966人	12,500人
③年間紹介率	73.9%	71.2%	78.0%
④年間逆紹介率	95.6%	106.2%	95.0%
⑤1日平均新規入院患者数	16.8人	16.4人	17.4人
⑥稼働病床利用率	77.0%	78.1%	80.0%
⑦経常収支比率	99.5%	99.1%	100.0%以上
⑧医業収支比率	97.3%	97.0%	98.0%以上

